

# 薬連ハイライト

## 日本薬剤師会賀詞交歓会開催される

平成28年1月13日(水)、都道府県会長協議会終了後、日本薬剤師会賀詞交歓会が明治記念館において行われた。主催者である山本会長は挨拶の中で、大手ドラッグストア



チェーン等で発覚した薬歴未記載問題・規制改革会議・財政審の厳しき等、また「昨年来よりマイナス改定と云われてきた2016年度の診療報酬の改定は、国会議員や行政などへの働きかけにより、従来の配分比率(医科:調剤=1:0.3)を維持でき、本体は+0.49であり十分に働いたつもりである。」と苦言と成果を報告し、一方、改定の中で実施される40億円削減される大型門前薬局等においては「残念な

がら私どもの仲間である何軒かの薬局がそこにかかってしまうという意味では、会長としては忸怩たる思いである。」と述べた。

来賓として厚労省医薬・生活衛生局の中垣局長は、制度化された健康サポート薬局について日薬に対して「日薬が薬局全体を引っ張っていく立場として、研修の実施などをお願いする。」と協力を促した。その他、藤井基之参議院議員、松本純衆議院議員、とかしきなおみ厚生労働副大臣、衛藤辰一参議院議員等国会議員の方々が来賓として祝辞を述べられ、懇親の場でこれからの薬剤師が抱える多くの諸問題について語り合い盛会裏に終了した。



## もとゆき便り

### 第190回通常国会

参議院議員  
藤井 もとゆき

第190回通常国会は、まず平成27年度補正予算案について審議を行い、1月14日の衆議院本会議に続いて、20日の参議院本会議にて可決成立しました。また20日の参議院本会議では、午後から平成26年度決算報告についての審議が行われ、自民党を代表して質問を行いました。私からは、決算報告や決算検査報告に関して政府の見解を問うのに加え、ODA及び科学技術イノベーションについて質問し、安倍総理から「ODAを積極的かつ戦略的に活用し、世界が直面する課題や人道問題について、国際社会と緊密に協力してリーダーシップを発揮していきます。」との強い決意が示され、「策定中の第5期科学技術基本計画においては、経済財政基本計画との整合性を確保しつつ、対GDP比1%を目指します。」との明確な答弁を得ることができました。本会議の様子はNHKテレビで生中継されましたが、ご覧頂けましたでしょうか。

国会は引き続き、1月22日の衆参本会議において安倍総理の施政方針及び財政、外交、経済それぞれの担当大臣

による政府4演説を行い、来年度予算案の審議に移りました。安定した社会保障体制の構築など、国民が安心して暮らせる社会の実現を目指して、厚生労働委員会等の場でしっかりと意見を述べていきたいと思います。

また、本年4月に行われる診療報酬の改定について、厚生労働省の中央社会保険医療協議会は2月10日、厚生労働大臣に答申しました。「かかりつけ薬剤師指導料」や「かかりつけ薬剤師包括管理料」が新設されるなど、かかりつけ薬剤師・薬局を評価する具体的な内容が盛り込まれていますが、附帯意見として、かかりつけ医とかかりつけ薬剤師・薬局が連携して薬剤の適正使用を推進する方策について検討することや、患者本位の医薬分業実現の観点から、調剤報酬の在り方について続討することなどが記されています。

一日も早く、全ての薬局がかかりつけ薬剤師・薬局となるよう、これからも応援していきたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp